

Express5800/320Fa-L, 320Fa-LR N8800-090/091 ご使用時の注意事項

このたびはExpress5800/ftサーバをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品をより安定してご使用いただく上での注意事項を記載しています。運用に先立って、必ず次の内容をご確認いただき、記載内容に従ってご対応頂きます様をお願いします。

- 注意事項 ～運用前に必要な作業～
- ユーザーズガイド補足事項

■ 注意事項



**運用前に、必ずカーネルバージョンを2.6.9-34.21AXsmpから
2.6.9-34.28AXsmpへアップデートしてください。**

- 必ず手順に従って作業を行ってください。
- スーパーユーザ権限で実施してください。
- 必ずシステムのバックアップを行ってから作業を初めてください。
- カーネルバージョン2.6.9-34.21AXsmp以外の環境では、カーネルのアップデートを行わないでください。
- OSの再インストールを行う時は、ユーザーズガイド(セットアップ編)のセットアップの流れ(4-3頁)のStep C-8まで行ったあとに実行してください。

アップデート手順

1) アップデート前の確認

- ①. MIRACLE LINUX V4.0 SP1 がインストールされ、カーネルバージョン 2.6.9-34.21AXsmp で起動していることを確認してください。

```
# uname -r  
2.6.9-34.21AXsmp
```

- ②. 装置前面の FT ステータスランプが緑色に点灯していることを確認してください。
③. 装置のその他の各ランプがアンバー色に点灯/点滅していないことを確認してください。
④. 以下のすべての RPM パッケージがインストールされていることを確認してください。

- (1) hal-0.4.2-4.EL4.1AX.i386.rpm
(2) hal-devel-0.4.2-4.EL4.1AX.i386.rpm
(3) hal-gnome-0.4.2-4.EL4.1AX.i386.rpm

```
# rpm -q hal  
hal-0.4.2-4.EL4.1AX  
# rpm -q hal-devel  
hal-devel-0.4.2-4.EL4.1AX  
# rpm -q hal-gnome  
hal-gnome-0.4.2-4.EL4.1AX
```

2) アップデートの実施

- ①. 装置添付の UPDATE CD 内のアップデートスクリプトを実行してください。

```
# mount /media/cdrom
```

```
# cd /media/cdrom
```

```
# ./system_update.sh
```

- ②. 再起動してください。

```
# shutdown -r now
```

以上でアップデートカーネルの適用は完了です。続いて管理モジュールのアップデートを行ってください。



1項のカーネルのアップデート後に、装置添付のアップデートCD内の管理モジュールのアップデートを適用してください。

- 必ず手順に従って作業を行ってください。
- スーパーユーザ権限で実施してください。

1) 装置添付のUPDATE CD内のアップデートスクリプトを実行してください。

```
# mount /media/cdrom
# cd /media/cdrom
# ./SI-Installer_1.01.40.sh
```

※ “*.rpm doesn't exist.” と表示された場合はモジュールが正常に格納されていません。

(1)、(2) の手順を再度確認してください。

2) システムをrebootしてください。

インストールが完了した後、以下のメッセージが表示されます。

```
!!! Reboot now ? [y/n]:
```

“Y”を入力してreboot を実行してください。

3) 次の手順に従って、正常にアップデートされていることを確認してください。

①. 次のコマンドを実行して表示される内容を確認してください。

```
# rpm -q lanteaming
lanteaming-1.01.40-1
# rpm -q SES
SES-1.0.NECFT-11
# rpm -q hasftctl
hasftctl-1.01.40-1.2
# rpm -q dumpdriver
dumpdriver-1.01.40-1.3
# rpm -q e1000
e1000-7.0.33_k2_N14-2
# rpm -q aic79xx
aic79xx-2.0.14.NECFT-12.2
# rpm -q lpfc
lpfc-8.0.16.6.NECFT-9
```

②. /etc/modprobe.conf の最後に次の二行が追加されていることを確認してください。

```
# cat /etc/modprobe.conf

alias net-pf-10 off
alias ipv6 off
```



重要

本装置では、IPv6は使用できません。IPv6は無効にしてご使用ください。

■ ユーザーズガイド補足事項

1	<p>ユーザーズガイドセットアップ編 Step B-5 Express5800/ftサーバが提供するソフトウェアのインストール (4-19頁)に記載の実行コマンドを以下のとおり読み替えて実行してください。</p> <p>4) halのアップデート</p> <pre># rpm -U <u>hal-0.4.2-4.EL4.1AX.i386.rpm</u></pre> <p>5) hal-develとhal-gnomeのインストール</p> <pre># rpm -ivh <u>hal-devel-0.4.2-4.EL4.1AX.i386.rpm</u></pre> <pre># rpm -ivh <u>hal-gnome-0.4.2-4.EL4.1AX.i386.rpm</u></pre> <p>6) アップデート後のバージョン確認</p> <p>それぞれ以下のバージョンであることを確認する。</p> <pre># rpm -qa grep hal</pre> <p><u>hal-0.4.2-4.EL4.1AX</u></p> <p><u>hal-devel-0.4.2-4.EL4.1AX</u></p> <p><u>hal-gnome-0.4.2-4.EL4.1AX</u></p>
2	<p>■ ファイバチャネルボード増設時の注意点</p> <p>ファイバチャネルのトポロジの変更を行う場合、initrd イメージの再作成が必要となります。</p> <p>ファイバチャネルボード制御用ドライバのトポロジ設定を変更するには /etc/modprobe.conf を書き換えてドライバのパラメータを変更する必要があります。このパラメータを反映させるため、次の手順で initrd イメージを再作成し、システムを再起動してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) /etc/modprobe.conf ファイルをユーザーズガイドの 8 章(8-40)を参照しながら修正してください。 2) 「mkinitrd --preload="geminifb acpiphp had_mod" --with="lpfc" -f boot/initrd-2.6.9-34.28AXsmp.HAS.img 2.6.9-34.28AXsmp」を実行してください。 3) 「ls -l /boot/initrd-2.6.9-34.28AXsmp.HAS.img」と入力して、initrd イメージのタイムスタンプが更新されていることを確認してください。 4) 「sync」と入力してください。 5) システムを reboot してください。 <p>※ (2),(3)の手順にある initrd イメージのファイル名と、カーネルバージョンについては、システムに適用されているカーネルに依存しますので、カーネルバージョンを確認の上、変更してください。</p>



856-126560-001-01K